



発行された著書

事故自己調査報告
の著書『東電福島原発
志氏 (静岡5区選出) 00円(税抜き)。1

10年節目に課題検証し提言 元原発事故収束担当大臣の細野豪志氏



細野氏に込めた思いを語る著書

著書『東電福島原発事故 自己調査報告』発行

のは紛れもない事実
される今こそ、福島を
放出出を実行すべき
だ。当時、政府の責任
国民に問うべきだと信
中間貯蔵施設には確か
者として関わった私が
し、本書を世に送り出
な希望がある。独り歩
そこから目を背けるこ
す。それは政治家とし
きした除染目標の1m
て福島復興に関わり
Sv⑤福島で被曝ひ
はくによる健康被害
通じて知ってはいい
は『福島復興が10年
でこまで来た』とい
査の継続は倫理的問題
だ。第1章「最前線の闘
ある④食品中の放射
うこと、処理水や除
染土など今も残る課題
があること。危機管理
危機管理に対応できる
基盤に合わせるべき⑤
話を通じて当時を振り返
判断が福島の人たち
と懸命に向き合い、福
返り、これまでの10年
専門家育成は国家的
ロナウイルスへの対応
の成果や課題などに
課題⑥福島の決断も問
れだ。この一点の懸
いて検証。第2章「本
われている。双葉郡を
中心とした町村合併の
中で示した6つの課題
治家として評価される
福島復興に挑戦する
検査を1の各項目に沿
に開ける解決につい
ては、私にとって⑦
た自身の考えを記して
の10年の仕事』と考
望している。
第3章「福島のため
私に歴史法廷で罪
を白する覚悟を持つ
に、わが國が乗り越え
るべき6つの課題」で
このほど記者会見
をラウエに受けてい
くことも重要』など
い。

閣府特命担当大臣(原
の問題が残されている
念が騒然とし、原発事
風評に負けるわけには
なすべきだ。
その中では「書籍を

・福島第1原発事故か
都大法学部卒業。三
じめに」の中で、細野
「私は歴史法廷で罪
を白する覚悟を持つ
に、わが國が乗り越え
るべき6つの課題」で
このほど記者会見
をラウエに受けてい
くことも重要』など
い。

・福島第1原発事故か
都大法学部卒業。三
じめに」の中で、細野
「私は歴史法廷で罪
を白する覚悟を持つ
に、わが國が乗り越え
るべき6つの課題」で
このほど記者会見
をラウエに受けてい
くことも重要』など
い。

・福島第1原発事故か
都大法学部卒業。三
じめに」の中で、細野
「私は歴史法廷で罪
を白する覚悟を持つ
に、わが國が乗り越え
るべき6つの課題」で
このほど記者会見
をラウエに受けてい
くことも重要』など
い。